

平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 滝島 知樹

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

TEL 052-769-1150

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	16,013	△2.9	28	—	△5	—	120	—
29年5月期第2四半期	16,483	△23.9	△354	—	△495	—	△780	—

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 142百万円 (—%) 29年5月期第2四半期 △772百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	15.55	15.41
29年5月期第2四半期	△101.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第2四半期	27,692	7,079	25.4
29年5月期	24,901	6,942	27.7

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 7,047百万円 29年5月期 6,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,285	△1.1	333	54.9	213	123.2	△39	—	△5.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期2Q	7,805,500 株	29年5月期	7,700,500 株
30年5月期2Q	1 株	29年5月期	1 株
30年5月期2Q	7,718,237 株	29年5月期2Q	7,700,092 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

平成29年6月22日開催の取締役会において、As-meエステール株式会社およびAEフードアンドダイナー株式会社(平成29年8月1日にヴィレッジヴァンガードプレース株式会社へ商号変更)と業務提携契約を締結、AEフードアンドダイナー株式会社に当社のフード事業を会社分割する決議を行い、同日付けで吸収分割契約を締結しました。なお、吸収分割の効力発生日は平成29年8月1日としており、平成29年8月1日付けにて吸収分割を実施いたしました。

当第2四半期連結累計期間(平成29年6月1日～平成29年11月30日)におけるわが国経済は、政府による経済政策は継続されるものの、日本経済とつながりのある海外諸国における不安定な情勢から、今後の企業業績への影響が注視されております。

小売業界におきましては、消費の下支えとなる訪日観光客は、依然として増加基調ではありますが、消費に至っては商品購入における消費単価は低下、観光地訪問などのサービス消費へ向かう傾向がより強く表れてきております。国内の個人消費につきましては雇用環境の改善がみられるものの、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加により、節約志向・選別消費の傾向は今後も継続していく状況であります。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待に応え、選ばれる店舗をめざし、店舗ごとに独創的な空間を創出することにより、ワクワクする専門店集団をめざし、「新しい発見」や「買い物の楽しさ」をお客様に提供する事業活動を継続して行ってまいりました。店舗運営における新規出店店舗については新しいタイプの売り場づくり、既存店舗についてはPOSを活用した商品施策、インバウンド需要を囲い込む為の免税対応店舗の整備を行いました。また、店舗集客を目的とした情報発信源としてフェスの開催、魅力ある店舗作りのコンテストを実施するなど、店舗運営におけるサポート体制の強化を図りつつ、販売費及び一般管理費の削減にも取り組んでまいりました。

店舗出店につきましては、インショップへの出店を中心に直営店5店を新規出店し、直営店9店、FC店2店を閉鎖しました。また、当社フード事業21店舗を連結対象外会社へ会社分割したことにより、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店352店、FC店8店の合計360店となりました。

このような事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、お客様一人あたりの消費単価は対前年を上回りましたが、購買客数が対前年を下回った結果、16,013百万円と前年同四半期と比べ470百万円の減収(2.9%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上の減少が影響し6,282百万円と299百万円減少(4.6%減)いたしました。販売費及び一般管理費の削減及び効率化に取り組んでまいりました結果、営業利益は28百万円(前年同四半期は354百万円の営業損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は購買客数が対前年を下回った結果、15,654百万円と前年同四半期と比べ314百万円の減収(2.0%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上の減少が影響し6,139百万円と146百万円減少(2.3%減)いたしました。売上総利益の減少の結果、営業利益は73百万円(前年同四半期は343百万円の営業損失)となりました。店舗数につきましては直営店5店を新規出店し、直営店9店、FC店2店を閉鎖しました。また、当社フード事業21店舗を会社分割したことにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は直営店352店、FC店8店の合計360店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、個人クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、画一的でなく、面白味のある商品を多数取り扱っております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は407百万円と前年同四半期と比べ138百万円の減収(25.4%減)となりました。営業損失は45百万円(前年同四半期は23百万円の営業損失)となりました。

なお、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が3社ありますが、比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、平成28年3月末をもって店舗を閉店、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましても平成28年6月末をもって店舗を閉店、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても平成29年6月末をもって店舗を閉店いたしております。今後、順次、会社清算へ向けた手続を進めていく予定であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.6%増加し、23,596百万円となりました。これは、現金及び預金が1,384百万円、商品が1,556百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%減少し、4,096百万円となりました。これは、建物及び構築物が148百万円、差入保証金が122百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11.2%増加し、27,692百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.4%増加し、10,461百万円となりました。これは、買掛金が1,320百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15.2%増加し、10,151百万円となりました。これは、長期借入金が1,340百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて14.8%増加し、20,613百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて136百万円増加し、7,079百万円となりました。これは、資本金が54百万円、資本準備金が54百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,384百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には4,113百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は312百万円(前年同四半期は738百万円の支出)となりました。

これは、主にたな卸資産の増加額1,673百万円があったものの、仕入債務の増加額1,319百万円があったためであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は526百万円(前年同四半期は3,063百万円の支出)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出48百万円、無形固定資産の取得による支出63百万円があったものの、事業分離による収入647百万円があったためであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は1,170百万円(前年同四半期は3,179百万円の収入)となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出が2,076百万円あったものの、長期借入れによる収入が3,282百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月14日発表の平成30年5月期の通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,728	4,113
売掛金	1,336	1,292
商品	16,284	17,841
繰延税金資産	10	29
その他	225	324
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	20,583	23,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,829	1,680
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	270	221
建設仮勘定	4	95
有形固定資産合計	2,104	1,998
無形固定資産		
ソフトウェア	226	206
ソフトウェア仮勘定	147	209
その他	1	1
無形固定資産合計	375	416
投資その他の資産		
長期前払費用	151	114
差入保証金	1,686	1,564
その他	0	1
投資その他の資産合計	1,838	1,680
固定資産合計	4,318	4,096
資産合計	24,901	27,692

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,731	5,051
短期借入金	190	370
1年内返済予定の長期借入金	3,618	3,484
未払金	656	589
未払法人税等	115	205
未払消費税等	54	0
株主優待引当金	50	103
賞与引当金	53	53
店舗閉鎖損失引当金	10	4
資産除去債務	40	12
その他	621	584
流動負債合計	9,142	10,461
固定負債		
長期借入金	6,662	8,002
長期未払金	238	250
役員退職慰労引当金	324	332
退職給付に係る負債	292	265
資産除去債務	1,225	1,204
その他	71	96
固定負債合計	8,815	10,151
負債合計	17,958	20,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,246	2,301
資本剰余金	2,223	2,278
利益剰余金	2,440	2,452
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,911	7,031
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17	15
退職給付に係る調整累計額	△24	—
その他の包括利益累計額合計	△6	15
新株予約権	38	31
純資産合計	6,942	7,079
負債純資産合計	24,901	27,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	16,483	16,013
売上原価	9,902	9,731
売上総利益	6,581	6,282
販売費及び一般管理費	6,936	6,253
営業利益又は営業損失(△)	△354	28
営業外収益		
仕入割引	20	20
業務受託料	43	41
その他	22	47
営業外収益合計	86	109
営業外費用		
営業外支払手数料	164	66
支払利息	55	65
為替差損	1	0
その他	6	10
営業外費用合計	227	144
経常損失(△)	△495	△5
特別利益		
新株予約権戻入益	10	4
事業分離における移転利益	—	276
特別利益合計	10	281
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	27	12
減損損失	33	15
子会社株式売却損	150	—
特別損失合計	211	27
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△695	247
法人税等	85	127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△780	120
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△780	120

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△780	120
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3	△2
退職給付に係る調整額	4	24
その他の包括利益合計	8	22
四半期包括利益	△772	142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△772	142

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△695	247
減価償却費	240	199
事業分離における移転利益	—	△276
減損損失	33	15
子会社株式売却損益(△は益)	150	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△58	45
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,448	△1,673
仕入債務の増減額(△は減少)	1,038	1,319
その他	142	△63
小計	△575	△188
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△55	△65
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△109	△59
営業活動によるキャッシュ・フロー	△738	△312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83	△48
無形固定資産の取得による支出	△55	△63
差入保証金の差入による支出	△48	△47
差入保証金の回収による収入	23	69
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	△2,871	—
事業分離による収入	—	647
その他	△29	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,063	526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△290	180
長期借入れによる収入	6,282	3,282
長期借入金の返済による支出	△2,476	△2,076
割賦債務の返済による支出	△75	△148
配当金の支払額	△107	△107
株式の発行による収入	1	106
その他	△154	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,179	1,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△621	1,384
現金及び現金同等物の期首残高	3,990	2,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,369	4,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	15,969	514	16,483	—	16,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31	31	△31	—
計	15,969	546	16,515	△31	16,483
セグメント利益又は損失(△)	△343	△23	△367	12	△354

(注) 1. セグメント損失の調整額12百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	(株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	15,634	379	16,013	—	16,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	28	48	△48	—
計	15,654	407	16,061	△48	16,013
セグメント利益又は損失(△)	73	△45	27	1	28

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。